

岡崎市立東海中学校で防災講座を行いました

令和7年12月16日（火）、岡崎市立東海中学校で2年生164名に防災講座を行いました。学校の裏山は土砂災害警戒区域に指定されています。

講座では、伊勢湾台風や東海豪雨、岡崎市で1時間雨量146.5ミリを記録した平成20年8月末豪雨など過去の水害、今年9月に岡崎市内に避難指示が発令された台風15号など近年の水害について学習しました。

また、VRでの浸水疑似体験や伊勢湾台風A1語り部との対話体験なども行いました。VR体験者からは「油断をしないで早く避難したい。」、「警報が出たらすぐ避難しようと思った。」などの感想があり、早期避難の重要性が伝わっていました。A1語り部との対話体験では、「どのくらいの期間、避難所にいましたか？」、「避難所での暮らしはどうでしたか？」などの質問を通して、避難などについて理解を深めました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人」から「守る人」になって頂けることを期待しています。

